

第38回 日本骨折治療学会のご案内

この度、第38回日本骨折治療学会を平成24年6月29日(金)、30日(土)の両日、新宿の京王プラザホテルにおいて開催致します。伝統ある本学会を私ども昭和大学藤が丘病院整形外科が担当させて頂くのは大変光栄であります。骨折は、整形外科外傷外科学というように整形外科の基本の重要な分野であります。四肢・脊椎・骨盤などの運動器の外傷は、変性疾患と異なり早期に整形外科医が治療を担うべき重要な分野のひとつであります。骨折の治療は変遷が著しく **Locking Plate** の開発を初めとして大なる進歩をとげておりますが、更なる進歩が必要であります。本学会を開催するにあたって、“関節内骨折の克服”というテーマを掲げさせて頂きました。感染性偽関節等の重篤な合併症にならないで、関節内骨折は長期的予後を踏まえたくて関節機能を考慮すべき重要なポイントと考えます。関節内骨折の長期予後进行研究することは、外傷という変性疾患と異なる面からなかなか難しい点が多々ありますが、関節機能の悪化、消失は少なからず解決すべき問題と考えております。重篤な骨幹部骨折においても、関節機能に及ぼす影響は大であり、より一層の関節機能の温存の解決策をご討論頂きたいと思っております。

一方、例年通りに幅広い分野での骨折治療法の工夫、進歩、成績の報告を行って頂けることを期待します。治療法の変革が予後を劇的に改善した歴史があることから、更なる進歩を継続していくべきと考えております。研修講演、セミナーには国内、欧米、アジアから多くの先生に参加頂き、お話を伺います。シンポジウム、パネルディスカッション、手術手技に大切なハンズオンセミナーなどを企画予定であります。

本学会の開催場所に、副都心新宿の京王プラザホテルを選びました。便利で快適な環境にあると思っておりますが、学術集会にご参加頂いて活発な討論をして頂くとともに、息抜きに都心の夜景を眺めながら夜の会食を楽しんだりすることも学会に参加する楽しみの一つと思っております。

骨折治療の臨床・研究が活発な北海道から多くの会員および関係者の皆様のご出席下さり、活発な討論をして頂く有意義な学術集会となるようご来場お待ち申し上げます。

第38回日本骨折治療学会

会長 渥美 敬 (昭和大学藤が丘病院 整形外科)